

大人も子どもも短冊に願いを 利用者さまは子供たちと触れ合いの1日

毎年恒例の『七夕まつり』が、特別養護老人ホーム「ヒューマンハウス」と介護老人保健施設「すばる」、城西病院院内託児所で行われました。今年も近隣の保育園の園児が駆け付けて、利用者さまと一緒に歌を歌ったり飾りつけをし、楽しい時間を過ごしていました。

7月4日は、ふたば保育園の年長さん29人が「すばる」に駆け付けて、利用者さんたちに歌や踊りを披露。利用者さんたちからお礼のプレゼントをもらい、触れ合いのひと時を過ごしました。ヒューマン・ハウス1号棟にはあすなる保育園の年中・年長の園児さんたち30人が、太鼓に合わせて踊りなどを披露。そのあと、利用者さんたちと一緒に、笹に短冊や飾りなどをして楽しみました。

5日には、みくに保育園の年長さん46人が、ヒューマン・ハウス2号棟に駆け付け、元気いっぱいの歌や踊りを披露しました。利用者さんと笹に飾り付けをし、願い事がいっぱい詰まった七夕飾りが完成しました。

6日はヒューマン・ハウス3号棟で『七夕まつり』が行われました。各ユニットごとに集まり、願いを込めた短冊を笹に飾り、歌を歌って楽しみました。院内託児所で、子供たちや親が七夕飾りに願い事を飾り付けて、七夕を楽しみました。

短冊には「病気をしないで元気で長生きしてほしい」「おいしいものが食べたい」と、それぞれの願い事を書いていました。

平成30年7月7日



託児所で作った七夕飾り



ふたば保育園と仲良しの握手=すばる



ユニットごとに七夕祭り=3号棟



みくに保育園と完成させた七夕飾り=2号棟



みくに保育園と一緒に飾り付け=2号棟



あすなる保育園と作った七夕飾り=1号棟